

仕様

サイズ	0.8タイプ	1.0タイプ	1.5タイプ
実容量	0.8L	1.0L	1.5L
保冷効力(6時間)	9度以下	9度以下	8度以下
外形寸法 ^{*1*2}	幅8.4×奥行8.5×高さ23.6cm	幅8.4×奥行8.5×高さ28.1cm	幅9.2×奥行9.4×高さ33.4cm
質量 ^{*1*3}	0.42kg	0.49kg	0.59kg

*1 おおよその数値です。 *2 ポーチを含まない数値です。 *3 ポーチを含む数値です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をキャップユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品付属のキャップユニットをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

※ふた、せん（ボタンは除く）には銀系（Ag）抗菌加工を施したポリプロピレン樹脂を使用しています。

※Ag抗菌加工

●試験依頼先：一般財団法人カケンテストセンター 大阪事業所 ●試験番号：CK-12-058783 ●試験方法：JIS Z 2801

に基づき抗菌加工を確認済 ●対象場所：ふた、せん（ボタンは除く） ●加工方法：プラスチックに練り込み加工

●使用抗菌剤：銀系抗菌剤 ●試験結果：24時間で99%以上抑制

消耗品・別売品のお買い求めについて

キャップユニット・パッキン類は消耗品です。（ご使用にともない傷んでくる場合があります。）

1年を目安にご確認ください。汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

●お買い上げの販売店

●タイガーお客様ご相談窓口

（下記「連絡先」参照）

●消耗品・別売品のご購入専用ホームページ

<http://www.tiger.jp/shop.html>

ご購入いただける消耗品・別売品

キャップユニット^{*1*3}

くちパッキン^{*2}

ふたパッキン
(各サイズ共通)

ポーチ^{*3}

ステンレスボトル用洗浄剤TAA-A100

*1 ふたパッキン・くちパッキンつきです。 *3 製品のサイズ、色柄により異なります。
 *2 製品のサイズにより異なります。 品番・色柄をご確認の上、ご注文ください。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.8をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをご知らせの上、ご相談ください。

①製品名②品番③製品の状況（できるだけ詳しく）④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ

TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス

<http://www.tiger.jp/>

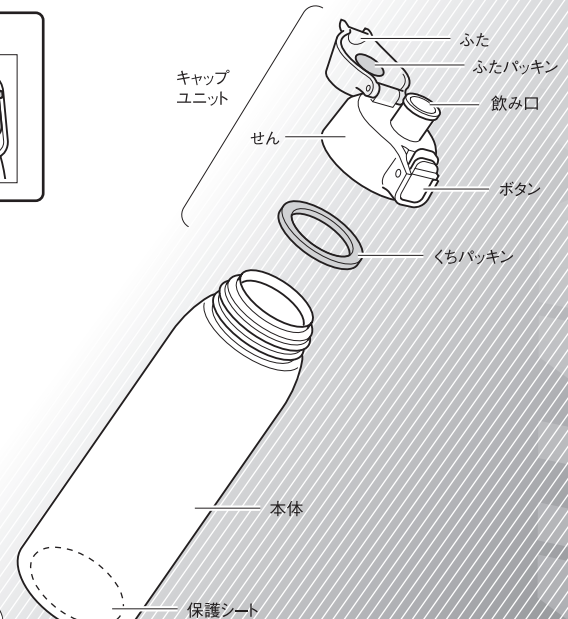
ステンレスボトル サハラクール ポーチつき

保冷専用

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールと底のシールは、はがさないでください。

けがなどの原因となる、特にお守りいただきたい内容です。

熱いものを入れない。

やけどのおそれ。



乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。

けがなどのおそれ。



キャップユニットは、確実にしめ、ロックされていることを確認する。

内容物がもれて、ものを汚す原因。

ドライアイス・炭酸飲料などを入れない。

内圧が上がり、ふたがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などを入れない。

腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、もれたり、あふれたりするおそれ。

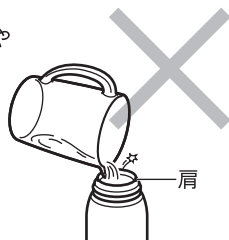


コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。

やけど・変形・変色の原因。

肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。

転倒して、けが・傷や変形のおそれ。



自動車走行中は使わない。

車内や衣服を汚す原因。(また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)

飲み物は、できるだけ早く飲みきる。

長時間放置した場合は、腐敗によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出たり、キャップユニットが破損して、けがなどのおそれ。

缶ホルダーで使うとき

市販の缶ホルダーで使うときはあらかじめ強度を確認してから使う。

強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、車内や衣服を汚す原因。

市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。

ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、車内や衣服を汚す原因。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

もれるおそれ。

飲み物の保冷以外に使わない。

冷凍庫に入れない。

内容物がもれたり、破損のおそれ。

倒したり、落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。

破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。



塩素系漂白剤は使わない。

サビたり、穴があく原因。

スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

分解・修理はしない。
故障や事故の原因。

ポーチのベルトを持って振りまわさない。
人や物にあたって、けがや破損のおそれ。

本体外側が濡れている状態で、ポーチに入れない。
サビやにおいの原因。

ポーチは濡れたまま使わない。
衣服などに色移りするおそれ。

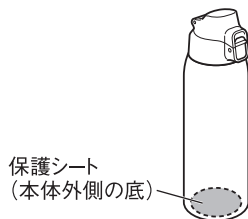
ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。

本体の横置きはしない。
内容物がもれる原因。

かばんや袋に入れたまま放置しない。
周囲の環境(湿度・塩分)などにより、サビ・においの原因。

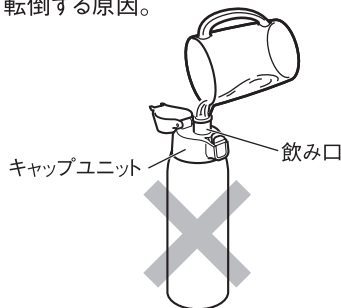
かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にするともれるおそれ。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。
はがすと、保冷効果が低下するおそれ。



本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。
はがれる原因。

キャップユニットをセットした状態で飲み口から飲み物を入れない。
こぼれたり、転倒する原因。



氷を入れると本体の内圧が下がり、ふたをあけたときにふたパッキンがはじれることがあるので、その場合はもとの位置につけなおす。
→P.7

使いかた

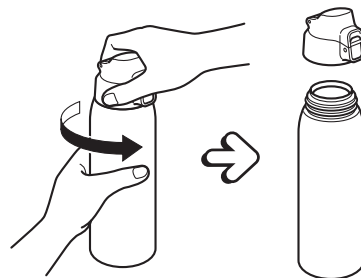
①

キャップユニットをはずす。

First!

はじめて使うとき

- 本体内側・キャップユニットをお手入れする。→P.6
- ふたパッキン、くちパッキンがついていることを確認する。→P.7



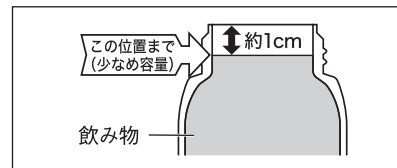
②

保冷効果を高めたいときは、少量の冷水を入れ、1～2分予冷する。
予冷後は、水ですてる。

③

冷たい飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。



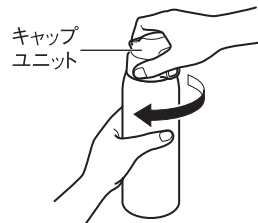
ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

④

本体を立てた状態にしてキャップユニットをしめる。

- キャップユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。
- 安全ロックを「ロック」にする。
→P.5(⑦の項目)

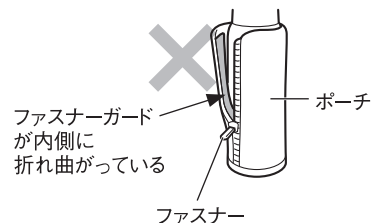


5

本体をポーチに入れる。

ご注意

ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。本体に傷がつくおそれ。



6

安全ロックを「解除」にしてボタンを押し、ふたをあけて飲む。



7

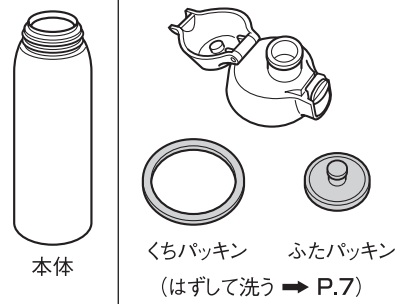
飲み終わったら、本体を立てた状態にしてふたをしめ、安全ロックを「ロック」にする。

ご注意

- 持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。安全ロックを「ロック」にしても強い衝撃でふたがあくおそれ。
- かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れして、充分に乾燥させる。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・フキンはやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、キャップユニットをこまめにお手入れする。

キャップユニット



- ① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ② 本体外側は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。)
- ③ 水分を充分に振り切り、乾燥させる。

ポーチ



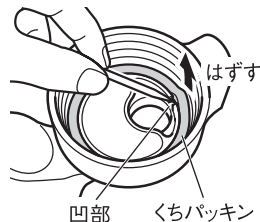
ネットに入れ、洗濯機の手洗いコース、またはドライコースで洗い、よく乾燥させる。
※ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。

ご注意

- 本体のつけおき洗いはしない。キャップユニット・ポーチを本体につけたまま、本体を洗わない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。熱湯を使わない。
- パッキン類は必ず取りつける。→P.7
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

くちパッキンのはずしかた・つけた

■はずしかた



先が細くやわらかい棒（つまようじなど）を凹部に差し込みはずす。
（金串などは使わない。）

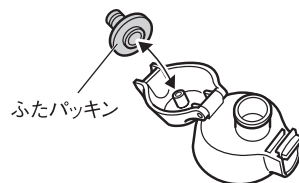
■つけた



溝に確実ににはめ込む。

ふたパッキンのはずしかた・つけた

つけるときは、つける場所を間違えないように、奥まできっちりにはめ込む。



本体内部に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ガラガラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。

- ①クエン酸（約 10g）をぬるま湯ですすめて本体に入れる。
- ②2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
- ③充分に乾燥させる。

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。ステンレスボトル用洗剤 TAA-A100（別売品）のご使用をお勧めします。

◆品番 TAA-A100 10g×4包入り

お買い求めは、「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。→裏表紙

こんなとき

飲み物がもれる。

→ キャップユニット・各パッキンが確実にセットされていますか。

→ キャップユニットが損傷していませんか。

→ 飲み物を入れすぎではありませんか。

→ ふたが確実にしまっていますか。

→ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したり、熱湯を使っていませんか。→ P.6

→ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→ P.2

保冷が効いていない。

→ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→ P.2

→ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保冷効果が得られない場合があります。

→ 周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保冷効果が得られない場合があります。

ふたがあかない。

→ 安全ロックを「ロック」にしていますか。

→ 安全ロックを「解除」にする。→ P.5

本体内部側やキャップユニットから異臭がする。

→ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていますか。

→ お手入れする。→ P.6～7

キャップユニットに水滴がつく。

→ 製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。

ご確認ください

直しかた

→ 確実にセットする。
→ P.4・7

→ 損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。→ 裏表紙

→ 入れすぎないようにする。→ P.1・4

→ 確実にしめる。→ P.5